



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第278号

2016年8月2日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

「ひどい学校のトイレなんとかして」

「子どもが学校のトイレを使わないで家に帰ってきた」「トイレのにおいが教室まで臭っている」「水が漏れている」「鍵がかからない」—市内の小・中学校のトイレは「臭い・汚い・暗い」と言われ続けてきました。日本共産党はこれまで学校トイレの実態を調査し、再三市議会で取り上げて早期改修を求めてきました。市は校舎の耐震工事と合わせトイレの改修を行い、対象校の約6割が改修されました。

しかし、最近保護者の方から「トイレの臭いがひどい」という苦情が寄せられました。党議員団はその学校を視察しました。耐震工事の際にトイレの改修ができなかった学校でした。創立から50年経過し校舎の老朽化が進み、トイレに入った瞬間、臭い消しの樟腦の強いにおいが鼻を突きます。汚れや破損箇所は修復していましたが、板がつぎはぎだらけです。現場の苦勞が伺えました。

財政難で計画見直し遅れる改修工事

教育委員会は2013年9月に「学校トイレ整備改修計画」を決めました。2013年度から2016年度までの4年間に18億8000万円の事業費で改修する計画でした。

ところが「財政難」を理由に今年度分の工事をストップし計画を見直しました。計画は2年延ばされ2018年度完了予定となりました。見直した各校の改修計画は次の通りです。2017年度は八千代台小、八千代台西小、大和田南小、南高津小です。2018年度は村上小、勝田台南小、村上東小、大和田西小、勝田台中、八千代台西中、東高津中、村上中です。

見直した計画も不確定要素があります。教育委員会は今年度予算で2017年度改修予定の4校の設計費を予算要求しました。しかし、認められたのは1校分だけでした。残り3校分が9月の補正予算で承認されないと改修工事は再び延期されます。

さわやか・きれい・明るいトイレを

改修先延ばしの理由「財政難」は、ハコモノ建設の過大な借金が原因です。先延ばしはハコモノ建設のしわ寄せを受けたのです。税金の使い方を、市民の福祉、教育、暮らしに優先的に使うよう改める必要があります。

八千代市内の子どもならこの学校に入学しても「さわやかで・きれいで・明るい」快適なトイレを利用できるようにすることは行政の責任です。これ以上トイレの改修を先延ばしすることは許されません。

日本共産党は、障がいをもつ子どもに対応した多機能トイレの設置、洋式化、床の乾式化など、トイレの早期改修を実現するために力を尽くします。



改修が待たれるトイレ